

Dec. 1936.

273

nensis in Sinensia Vol. 5 No. 1 et 2 1934 pp. 158-163).

Ainsliaea (Scaposae) angustata CHANG — 四川省、*Chrysanthemum (Pyrethrum) neo-oreastrum* CHANG — 西部支那、*Chrysanthemum (Tanacetum) linearifolium* CHANG — 甘肅省、*Chrysanthemum (Tanacetum) variifolium* CHANG — 陝西省、var *ramosum* CHANG — 湖北省、以上の新種の発表あり。
(北村四郎)

故ヒツチコツク氏：北米合衆國産禾本の屬、及び北米合衆國産禾本の網要。— A. S. HITCHCOCK: *the Genera of Grasses of the United States*, Revised by A. CHASE (May, 1936), in U. S. Dep. of Agric. Bull. No. 772, and *Manual of the Grasses of the United States* (1935), in U. S. Dep. of Agric. Misc. Publ. No. 200.

前書の初版が出版されたのは 1920 年であつてその後の十數年の年月は禾本科に取つてもかなりの變化を來して居る。世界有數の禾本の専門家であり同時に植物命名について造詣の深かつた Prof. HITCHCOCK は昨年末アムステルダムからの歸途長逝されたので、氏によつて改訂されるべき筈であつた此の著の改訂は A. CHASE が行つて居る。實際上は HITCHCOCK 氏が行つたのと同様である。改訂版にはその後同國內に知られた屬を増加し、一二の屬の移動が行はれた以外は大体として云へば最近の命名規約による屬名の變化が大部分である。本書は北米の禾本の屬の手引きではあるが本邦のものにも關係が深い非常によい参考書であるから、改訂版を持参しない人々の参考にも本邦にも産する主な屬名の移動を紹介して見様。右の方は舊版、左は改訂版を示す。

No. 4. <i>Glyceria</i> R. BR.	<i>Panicularia</i> HEIST. ドゼウツナギ
13. <i>Diarrhena</i> BEAUV.	<i>Diarina</i> RAF. タツノヒゲ
49. <i>Deschampsia</i> BEAUV.	<i>Aira</i> LINN. コメススキ
50. <i>Aira</i> LINN.	<i>Aspris</i> ADANS.
51. <i>Holcus</i> LINN.	<i>Notholcus</i> NASH. シラゲカヤ
78. <i>Tragus</i> HALL.	<i>Nazia</i> ADANS. イガホシバ
79. <i>Zoysia</i> WILLD.	<i>Osterdamia</i> NECK. シバ
86. <i>Cynodon</i> RICH.	<i>Capriola</i> ADANS. キヤウギシバ
99. <i>Hierochloa</i> R. BR.	<i>Torresia</i> RUIZ et PAV. カウバウ
103. <i>Leersia</i> SWARTZ.	<i>Homalocenchrus</i> MIEG. サヤヌカグサ
110. <i>Digitaria</i> HEIST.	<i>Syntherisma</i> WALT. メヒシバ
124. <i>Setaria</i> BEAUV.	<i>Chaetochloa</i> SCRIBN. エノコログサ
133. <i>Sorghum</i> MOENGH.	<i>Holcus</i> LINN. モロコシ

140. *Hackelochloa* KUNTZE *Rytilix* RAF. ヤヘカヤ

大体に於て左欄に記された属は従来から本邦で用ひられた名称であつて、アメリカの規約に従つた右欄よりも穩當である様に思はれる。本邦では *Digitaria* と *Hackelochloa* とが稍目新しいが私も之れに賛成する。

後書は 1000 頁を超える大著で北米合衆國のものゝ種を主として取扱ひ各種の解説分布、等と共に種の検索表並に属の特徴等はあるが属の異名は詳略されて居る。卷末に各種の異名を一まとめにして擧げてある所、編輯の上にも苦心の跡が見える。兩書とも挿圖が多くて解り易い英文で書いてあるので、禾本に興味を持つて居られる方々にお勧めする。値段も廉く、前書は米價 35 cents. 後書は Buckram 製本で同じく 1.75 弗である。

(大井次三郎)

雜 報

ハナツルグミ

ハナツルグミ (*Elaeagnus nagasakiana* NAKAI) は 1932 年十二月中井博士の報によれば、之は長崎産にはあらずして香港産のものを採集者が混雜せしものゝ如く、而植物は *Elaeagnus Louleiri* CHAMP. なりと云ふ。

(G. KOIDZUMI)

地質時代に於ける極の方向

A. KRYSHTFOVICH 博士曰く、地質時代に於ては北極の位置は現今と異なる處にありしと云ふが、是を推定する補助として過去地質時代に於ける森林立木の化石に就き、其南北側に於ける材質構造の差によりて、當時の南北の方向を測り得る可能性なきにあらざるべし

北支・蒙古・滿洲の櫛櫛屬

北支滿蒙に分布する *Lepidobalanus* は *Quercus mongolica* FISCHER. *Quercus liaotungensis* KOIDZ. *Quercus aliena* BL. *Quercus dentata* THUNB. *Quercus serrata* THUNB. *Quercus chinensis* BUNGE, *Quercus acutissima* CARR. *Quercus Baroni* SKAN, *Quercus glandulosa* BL. *Quercus variabilis* BL. 及び *Quercus spinosa* DAVID. の十一種なり。

北支滿蒙のヒメハギ科

北支那、蒙古、滿洲に分布するヒメハギ科は四種ありて *Polygala japonica* HOUTT. *Polygala sicirica* L. *Polygala tenuifolia* WILLDN. *Polygala triphylla* HAM. である。